

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0872500079		
法人名	社会福祉法人 博友会		
事業所名	フロイデグループホーム美和		
所在地	茨城県常陸大宮市鷺子686-1		
自己評価作成日	2020年3月15日	評価結果市町村受理日	2020年9月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JirgvoCd=0872500079-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所		
所在地	茨城県水戸市酒門町4637-2		
訪問調査日	2020年7月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人と連携をとりながら、医師、看護師、管理栄養士の協力を受け医療と介護のサービスの提供を行っている。内服薬は地元の薬局で管理されており、薬に対して不明な事など24時間薬剤師に相談出来る体制となっています。森林に囲まれた自然豊かな場所にあり、一年中季節を感じられる施設である。デイサービスセンターと隣接しており、合同でイベントを開催したり、ボランティアを招いて、歌、舞踊、レコード観賞会等、楽しんでいます。

森や川に囲まれた豊かな自然の中にあり、温もりを感じさせる木造平屋のグループホームである。デイサービスとつながるウッドデッキ前には芝の園庭が広がり、開放的な雰囲気となっている。コロナ禍で面会が制限され、遠出の外出もできない生活が続いているが、ホーム周辺の散歩やテレビ体操、折り紙やちぎり絵、習字や短歌を楽しんだり、居室でテレビを見たりと思い思いの生活を継続している。職員は理念を胸に刻み、利用者が自分の時間を持ち、穏やかに笑顔で過ごせるように、一人ひとりの生活を支援している。
* 新型コロナウイルス感染予防の観点から、訪問調査は通常より時間を短縮し、簡潔に実施。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	廊下(玄関)の壁に掲示し職員間で意識を共有し実践につなげている	運営理念とケアの理念を玄関横に掲示し、カンファレンスや朝礼時に理念に沿った思いを伝えるようにしている。職員は掲示した理念をよく読んで理解して支援に当たっており、振り返りもしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りに出かけたり、小学校の奉仕活動の参加や近所のボランティアの方々に参加して頂き避難訓練等を毎年行っている	中学生の吹奏楽を聞いたり、盆踊りや花火を見て踊るなど、地域の夏祭りを楽しんでいた。小学校の奉仕活動である花壇の手入れに参加したり、子ども会を招いて流しそうめんを楽しんだ。オレンジカフェには、少数ではあるが地域の方が参加され、勉強になったと喜ばれた。デイサービスにくる日本舞踊などのボランティアの発表を一緒に見学した。今年入ってからは、新型コロナウイルス感染予防の為、地域の方や子どもたちと楽しんでいた様々なイベントが中止され、ホーム内で過ごしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回認知症カフェを開催し地域の方々に向けた活動を行い門戸を広げている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回定期的に開催し利用状況等の報告を地域包括支援センターや行政・区長・民生委員にも参加して頂き意見交換を実施している	区長、民生委員、包括職員、市職員の参加で開催しているが、家族の参加を得ることが難しい。利用者の状況や行事の報告を行い、意見交換をしている。家族向けに議事録を玄関に掲示するほか、家族会で報告をしている。現在は文書送付し、紙面上での会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	グループホーム連絡協議会や運営推進会議に積極的に参加し情報発信と共に情報の収集を行い意見交換を行っている	グループホーム連絡会に市職員が参加しており、意見交換をしている。日常の事務連絡は美和支所で行い、相談等は本庁に電話で行っており、良好な協力関係が構築されている。生活保護受給者の利用があり、担当課とも連携を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	グループホーム玄関エントランスに身体拘束をしないケアの指針を掲示し職員が共通理解する事で身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止については、法人内で毎月委員会を開催し、現状の把握をしている。法人の勉強会に参加した職員は、申し送り時やカンファレンス時に他の職員に周知を図っている。身体拘束のマニュアルを作成しているが、現在、身体拘束が必要な利用者はいない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	地域包括センターと定期的に交流を図り情報交換する事により虐待が見過ごされないよう職員相互で注意を払い対応している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターと定期的に交流を持ち援助できる体制を整えている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結前に専門用語を使用せず解りやすい言葉で説明し理解して頂いている。又改定等の際には問い合わせ先を明記し説明文書の送付や電話対応を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱の設置をしている。また定期的にアンケート調査を行い要望等の確認改善する機会を設け結果を掲示している。年2回の家族会も開催し意見交換を行っている	年1回のアンケートや年2回の家族会で、各家族の意見を聞くようにしている。薬の内容がわからないとの意見を受け、半年毎または変更時に家族へ薬の報告を行っており、要望等に対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が日常的の各職員への声掛けを行ってくれている。また半年に一回時間を作り面談を行い意見交換が出来ている。月1回のカンファレンス時も同様	月1回のミーティングはカンファレンスが中心で、欠席の職員には議事録で周知をしている。備品等は物品リストで請求し、シフトは希望休を3日入れるなど、職員の意見を取り入れるシステムがある。業務改善提案書があり、アイデアを出しやすいとの声が聞かれた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半年ごとに行っている面談や自己目標の設定人事考課評を使用する事により確認やそれぞれの評価の確認反省も出来ている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種の勉強会や研修会への参加できる機会を作り各人の能力向上につなげている。また研修等に参加した職員が其々に報告する事により職員間の共有もできている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム連絡協議会に参加し情報交換や交流を図っている		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が安心して話が出来るよう時間を取り傾聴し家族にも聞き取りを行っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	知識や経験豊富な職員が対応する事での確かなアドバイスや情報交換を行い信頼関係を構築理解を得られるよう努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の体調の変化により、医療的ケアが必要である時、系列事業所へ相談、本人、家族様を交えて検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事を見極めなるべく気持ちよく行えるような声掛けと環境を作り職員と共にやっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等現状報告を行いながら工夫している事や困っている事も説明し共に協力して頂く事で良い関係を構築している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	使い慣れた物や大切にしていた物を持って来て頂き面会の際にはゆっくりと時間を過ごして頂けるよう配慮している。外出ドライブや家族会を定期的に開催している	近所に住んでいた方が面会に来る利用者がある。利用者の希望で神社へ参拝に行く支援を行っている。地元商店の方が、月3回、出張販売に来てくれ、訪問調査当日も利用者が楽しそうに列を作り、順番に買い物をしていた。娘とお墓参りに行く方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の会話に耳を傾け楽しく会話している時は見守り陰悪になりそうな時は仲たがいしないよう声掛け支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了した家族がボランティアで他の利用者のためにレコード観賞会等を開催してくれている。また、相談やアドバイスも相談員等を通じて積極的に行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的にカンファレンスを行い各職員が収集した情報を共有し検討の場を設けている	コミュニケーションをとりにくい方には、片言や単語を聞き取り、ジェスチャーで確かめて把握しており、思いを受けとめることができている。利用者からは、散歩がしたい、花見に行きたいなどの外出希望が多く、外出イベントを企画して叶えるようにしていた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅のケアマネージャーと連携しながら本人や家族からの情報収集に努め友人知人の面会が合った際にも声掛けお聞きしている。集めた情報は申し送りやカンファレンスにより共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人との関わりを大切に会話や行動の中から状態を把握し記録に残し、情報を共有し現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスにより情報を把握し関係者の意見を頂き作成し変化があればその都度見直している	アセスメントシートで思いを把握し、全員のカンファレンスでケアプランを作成している。日々の記録は、全員がCrepoの端末を持って入力しており、職員の負担軽減につながっている。家族から希望があったときには、画面で見てもらったり、プリントアウトすることもある。カンファレンスで良かったことや改善点など話し合った結果に基づき、評価表を作成している。申し送り事項は、業務日誌に記載して漏れがないように注意している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Crepo使用により詳細な日々の入力が個々に出来るようになり色々な職員の視点での気づきや会話等も記録に簡単に残すことが出来る為職員間の情報の共有が即座にできカンファレンス等で活かす事が出来ている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や本人の希望に添えるようその都度話し合いを行い出来る限り希望に添えるよう系列グループの大きさのメリットを生かし対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	読み聞かせやレコード観賞会等のボランティアの受け入れを行い豊かな暮らしと環境づくりを行っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診に加え本人や家族の希望に基づき個々の受診に対応している	月2回、内科医の往診を受けており、皮膚科などの他科受診の指示や変更があったときには家族に報告をしている。急変時の受診は家族に連絡をして職員が同行し、結果を報告する。歯科衛生士の口腔ケア、薬剤師による服薬管理指導を定期的に受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設のデイサービス看護職員に気軽に相談する事が出来アドバイスを受ける事が容易に出来る。また判断に困った時は往診時の担当看護師に気軽に連絡相談できる仕組みがあり適切な判断が受けられる		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には必ず職員が付き添い確実な情報交換を行っている。また同グループ内ではメールのやり取りや電話相談もできている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所前に事前の説明を行っているが体調の変化に合わせて相談話し合いを持ち各部署の相談員や地域包括や行政にも相談する事も行っている	夜間は医療職がいらない為、看取りは行わない。重度化した場合の対応に係る指針を作成して、契約時に家族に説明をし、理解を得ている。食事や水分の口腔摂取が困難になるなど、重度化してきたときには、医師と相談し、入院や法人内の施設入所などを提案する。看取りケアの外部研修に参加したことがある。職員には看取りまで行いたいとの思いもあるが、経験者が少なく、夜間の医療体制を考慮すると難しいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人全体の勉強会にて救急救命訓練の実施やマニュアルにより対応できている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近隣のボランティアの方々の参加を頂き年2回の定期的な避難訓練を実施しておりその際に意見等も頂いている	デイサービスと合同で昼間の訓練を、単独で夜間訓練を行っており、ドアの閉め忘れなど反省点を確認している。訓練には驚きボランティアの協力があり、避難後の見守りをしてくれる。昨年台風で避難を経験。持ち出しグッズリストを作成中。市のハザードマップでは土砂崩れの警戒区域に指定されており、川の氾濫も気にかけている。連絡網はラインで一斉に送信できる。食料を主とした備蓄品をリスト化している。	土砂崩れや川の氾濫などに備えて早めの避難を計画しているが、市や消防署と具体的・科学的に協議する機会を持ち、災害別の具体的なマニュアル作成を検討していただきたい。備品や持ち出しグッズのリスト化と、計画的な見直しを検討されたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊重し言葉使いに注意して性格に合わせた対応をしている	名前の呼び方は今までの呼称を重視し、その方に合った呼び方で対応している。利用者には鏡餅の飾り方や季節毎の野菜作りなど、人生の先輩としての経験を教えてもらう。面会簿は個票で管理され、写真掲載の同意書もあり、プライバシーへの配慮がされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話や入居者同士の会話の中から聞き出す事が出来るよう努めている。食事や入浴等も可能な限り添えるよう努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のタイミングでの声掛けが多いので一人一人のペースを大切に支援できるよう努めたい。起床や就寝は個々のリズムに合わせている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に沿ったおしゃれが出来るよう衣替え等の支援を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士の訪問あり形態や硬さにも配慮している。年に何回かアンケートも問っている。食器洗いや食器拭きを一緒に行っている	管理栄養士を中心とした食事委員会で残菜を調べたり、年1回アンケートをとって、食べたい物の要望や食べにくい物などの意見を聞いており、希望が多い麺類は週1回の頻度で提供されるメニューになっている。近所から野菜をもらい、1品追加することがある。洗い物など、できることで利用者も参加する。たこ焼きなどのおやつ作りを楽しむ。スーパーのフードコーナーでおやつを食べることがある。職員は食事介助と見守りを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が月2回訪問し状態の観察や把握に努めている。食事量や水分摂取量も記録している事により目標摂取できるよう好みの把握も行い個別対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きうがいを実施週3回は義歯を洗浄剤に浸している。コップや歯ブラシは毎日消毒し清潔保持。月に2回程度歯科衛生士の口腔チェックと状態に応じた対応と指示助言を頂き実施している		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、そっと声掛けし誘導、出来ないところを支援している。	おむつを使用していたが、声かけ誘導により、日中はトイレで排泄し、リハビリパンツに改善できた方がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の排便の有無を確認し状態に合わせて下剤や食物繊維オクノスを水分に入れ調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴チェック表を元に声掛けしている。入浴時間は昼間、ゆっくり入って頂いている。希望に添えるよう配慮している	1日3人、週2回の入浴を基本とするが、希望により回数が多い方もいる。ひのきのお風呂で両側から浴槽に入ることができる。脱衣所にもエアコンが設置され、温度に配慮している。ゆず湯など季節の湯を楽しむ。皮膚疾患に気を配り、必要な方には薬を塗布している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人のペースに合わせて、昼寝をしたり、夜間のぐっすり眠って頂けるよう、ウッドデッキで日光浴をしたり、ベット周りは本人に合わせて整理をしている。起床時間は本人のペースに合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を読み、効果や副作用の把握を4している。不明な点は直ぐに薬剤師に連絡し返答を頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月2回のイベントを計画、ご利用者様の要望を聴き、希望に添えられるような内容のもの実施している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の生活の中での会話から、計画をたて、実施している。地域の方やボランティア方の協力を得て地元のお祭りに参加している。	ホームの周りを散歩している。ウッドデッキで洗濯物を干したり、芝の草取りを一緒に行うこともある。イベント担当が外出を企画し、デイサービスの看護師が同行して、県外的那珂川まで出かけることもある。今は新型コロナウイルス感染防止の為、散歩や庭園でのリハビリのみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人家族と話し合い管理可能な可能な金額で自己管理している。訪問販売や季節ごとのドライブ近くのコンビニや道の駅に買い物に行く支援も行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じたやり取りが出来るようにしているが自分から手紙を書いている方はいない		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔保持を心掛けていると共に心地よく過ごせるような配置を行い壁には季節を感じて頂けるよう作品や写真を掲示している。照明や温度・湿度も確認し安心できるよう対応している	木造の広いホールで気の合う方とテーブルを囲み、折り紙や習字、短歌づくりなど思い思いの時間を過ごし、体操や食事も楽しんでいる。廊下の隅々にベンチが置かれ、会話を楽しむ方々もいる。廊下には個人の作品や共同制作した作品、外出時の写真、花や魚の名前を当てるクイズや漢字クイズなどを楽しめる飾りが仕掛けられていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士の同席やゆったりした空間にソファで寛げるよう配置し廊下には多くの一人用椅子を設置してある。またウッドデッキでも過ごせる様椅子を設置してある		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れた物を持って来て頂けるよう家族に説明している。壁には家族や本人の写真や作品等も飾っている	自然豊かな森や川を望むことができ、洗面台と低いチェストが置かれた居室は、ベッドやテーブル、椅子を置いて寛ぎを感じられる。家族の写真や生花を飾っていたり、思い思いの部屋作りがされている。畳の部屋でお布団の上げ下ろしをする利用者もいる。掃除は職員が行っているが、シーツ交換時に一緒に枕カバーを交換したりする利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室やトイレには表札やパネルを使用し 自立支援に取り組んでいる		

(別紙4(2))

事業所名: フロイデ総合在宅サポートセンター美和グループホーム

目標達成計画

作成日: 2020年9月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の持ち出しグッズのリスト化がなされていない	持ち出しリストの作成と方法	持ち出しグッズのリスト化 持ち出すための整理と改善	3ヶ月
2	35	市のハザードマップで土砂崩れの警戒区域に指定されているが、市や消防署との具体的な協議までには至っていない	災害別の具体的マニュアル作成	土砂災害・地震災害・火災・水害・竜巻及び風・事故・交通・有害物質等々市のマニュアル参照協議	12ヶ月
3	35	市の災害時の通報訓練や避難訓練等は行っておらず避難のタイミングも具体的になっていない避難行動要支援者めいぼの作成と更新がなされたばかりで実際の連携までには至っていない	市の災害時通報訓練に参加し職員間での情報の共有を図る	市災害時通報連絡訓練の参加 安全まちづくり推進課との連携	12ヶ月
4	35	災害時の具体的な内容を協議するまでには至っていない	消防署との具体的相談と連携	年2回定期的な避難訓練や運営推進会議で協議し具体的なマニュアル作成する	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。